

# 日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2016年  
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 2月2日発行

## 世界の運動のリーダーが語る 核兵器のない世界への展望

2016年3・1ビキニデーには、核保有国であるアメリカとイギリス、ビキニ事件をはじめ核実験による被害を受けたマーシャル諸島から海外代表が参加します。核兵器の非人道性から禁止への流れをどう強めるか、被爆者のよびかけで始まる国際署名をどう盛り上げるか、ビキニデーに参加する海外代表との議論や交流でこそつかめます。2月28日の国際交流会議から、参加を強めましょう。



### ジョゼフ・ガーンソン(アメリカ・アメリカフレンズ奉仕委員会)

アメリカフレンズ奉仕委員会 (AFSC) の平和・経済安全保障プログラム責任者。核戦争阻止と核兵器廃絶に焦点を当て、米国主導のアジア太平洋地域の軍事化に対して平和で公正な対案を作るために、教育・組織活動に力を注いでいる。2015年 NPT 再検討会議の際の「平和と地球」国際行動で、国際会議とパレード、署名提出などの行動を組織した。公民権運動、ベトナム反戦平和運動以来、長らく正義と平和を目指す運動に関わってきた。著作に「帝国と核兵器」、「ザ・サン・ネバー・セツツ―世界を覆う米軍基地」など。1985年以来、ほぼ毎年世界大会とビキニデー行事に参加。

### トニー・デブルム(写真右、マーシャル諸島共和国前外務大臣) ※招請中

マーシャル諸島の核実験の影響に基づき、核軍縮の義務を履行していないとして、9つの核保有国を国際司法裁判所 (ICJ) に訴えた同国のリーダー。1970年代からアメリカとの補償交渉に携わってきた。現在は、地球温暖化についてもマーシャルの被害から警告を発している。



### アバッカ・アンジャン・マディソン(写真左、マーシャル諸島・元上院議員/ロンゲラップ島民代表)

マーシャル諸島共和国元上院議員 (ロンゲラップ環礁選出)。第五福竜丸と共に死の灰を浴びたロンゲラップ島で被爆した島民のたたかいを率いてきた故ジェットン・アンジャン上院議員の娘。父と、叔父のネルソンとジョンの遺志を受け継いで、被ばく者の正義と補償のための支援を訴えてきた。2005年、2008-2010年のビキニデー、2010年、2015年 NPT ニューヨーク行動に参加。



### ジェニー・クレッグ(イギリス 核軍縮キャンペーン 国際顧問)

戦争と核兵器反対に半生を捧げて活動してきた。セントラル・ランカシャー大学の元国際政治学講師で、専門はアジア・太平洋問題。2015年 NPT ニューヨーク行動の際、原水協主催の国際シンポジウムでパネリストを務めた。CNDは2月27日、ロンドンでトライデント反対の今世紀最大のデモにとりくむ。